



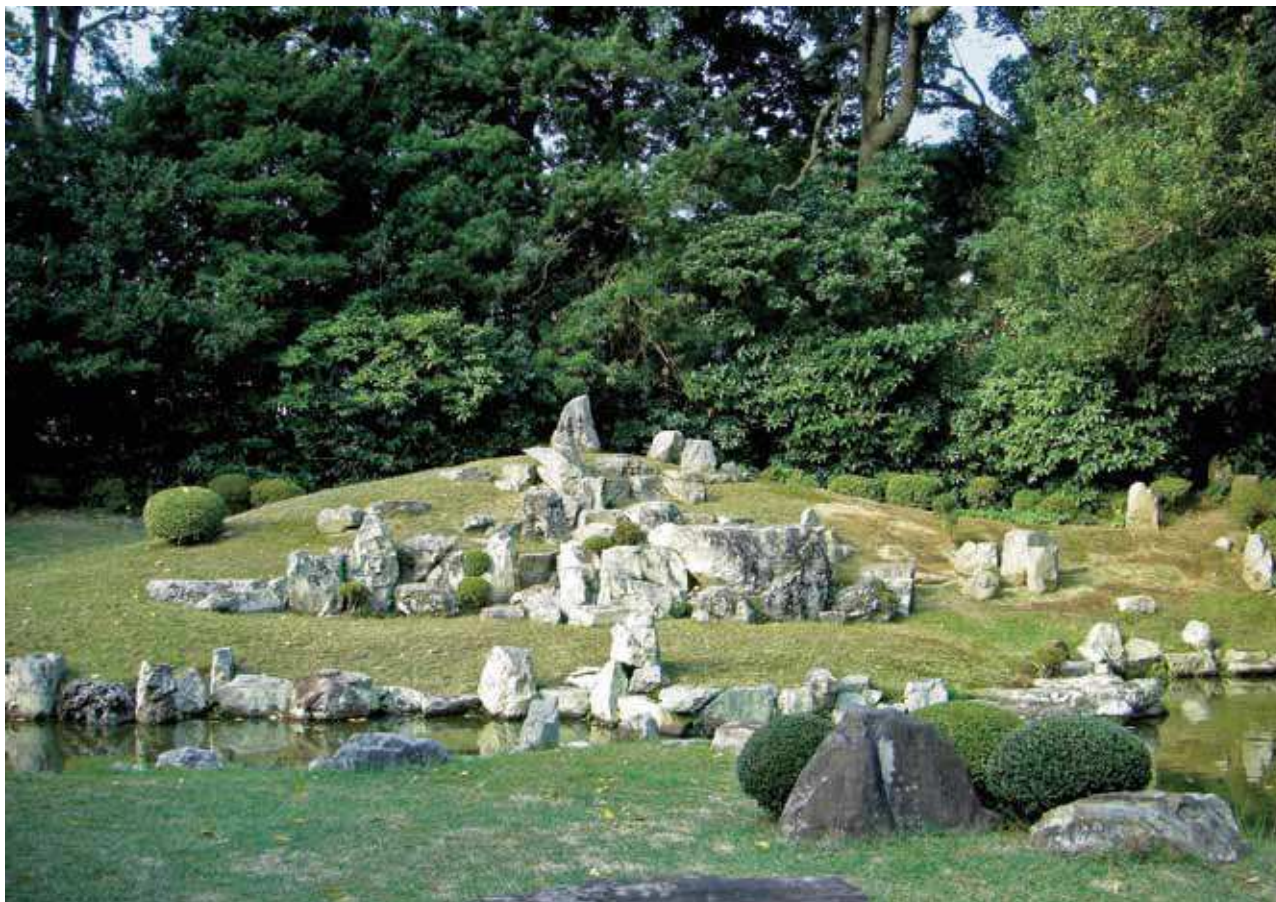
島根いのちの電話

第 66 号

2018年1月

(平成29年度)

雪舟庭園



(益田市東町)

島根県共同募金会テーマ募金「島根いのちの電話」に、ご協力をお願いいたします。3/31まで

—24時間眠らぬ電話を目指して— 島根いのちの電話

ひとりぼっちで悩まないで… **相談電話 0852-26-7575** 9～22時
年中無休

毎週土曜日は翌朝まで、連続して受けます。

全国共通番号 ナビダイヤル 0570-783-556 10～22時

フリーダイヤル 0120-783-556 毎月10日 8時～翌日8時

毎月10日は日本いのちの電話のフリーダイヤル 24時間無料です。

「ネガティブ・ケイパビリティとの出会い」

理事 小川 勉

人生は人との出会いという言葉がありますが、その人の中には生身の人もあれば、本や著作を通して出会う過去の人もあります。そこに大きな出会いがあり自分が自分に成ってゆくということがあります。他己との出会いで自己が自己と成るといことです。

人だけでなく、自然や芸術作品などに出会うことも人生の大きな出会いとなります。

そしてこの出会いは計画されたものではなく、ハプニングとしての出会いの方がより豊かです。ハプニングはハップという言葉の語源としていますが、これは偶然という意味を含み、ハッピーの語源でもあります。

今は、マニュアルや計画に重きを置きそれを実行し、失敗や過ちが少なく予想通りに成果が出ることを良しとする風潮が蔓延していますが、それだけ豊かさが無くなっていることと比例しているようにも思います。偶然、それは仏様や神様から見ると必然かも知れませんが人間からみると偶然。その豊かさを大事にしたいものです。

偶然とも言える出会いは不思議な縁として存在します。

昨年三月、ふとした縁により「島根いのちの電話」の理事を仰せつかることになり、そこで新たな出会いが生まれ、新たな自分が生まれています。微力ですが少しでもお役に立てばという思いです。そして最近、また題名の不可解さに惹かれ偶然出会った本が「ネガティブ・ケイパビリティ～答えの出ない事態に耐える力」、著者は精神科医で小説家の梶木蓬生（ははきぎほうせい）。この方の本はこれまで一冊も読んだこともないし、名前さえ知らなかったのですが、読むと、とても面白い内容で「いのちの電話相談員」さんはもちろん、今生きる私達への

大きなヒントを得るのではと思いましたが、できる限り「述べて造らず」で私が理解したところでご紹介。

「ネガティブ」はポジティブの反対語で陰性、負性。「ケイパビリティ」は能力・才能の意味で、二つ合わせると「陰性能力・負の能力」。この能力を著者は「どうにも答えの出ない、どうにも対処しようもない事態に耐える能力。性急に証明や理由を求めずに、不確かさや不思議さ、懐疑の中にあることができる能力。」と書いています。

今、一般的には社会的な「能力」と言えば、才能や才覚、物事の処理能力を想像し問題が生じれば、的確かつ迅速に対処する能力が想像されそれが求められています。これがポジティブ・ケイパビリティ。事の原因を緻密に分析し、知識を総動員し早期にストレートに解決を図る。スピード感あればあるほど良いという、どちらかと言えば線型（リニア的）思考と才能。人に関わる仕事、教育、福祉や介護、医療などでもこのリニア的思考が深まっているように感じます。こうした分野における今の息苦しさはそこから生じているように思います。

ネガティブ・ケイパビリティはその裏返しの能力。論理を離れた、どのようにも決められない、宙ぶらりんの状態を回避せず、耐え抜く能力。これは教育の場では評価が難しく、点数化できない能力でもあるため、語られてこなかったのではないのでしょうか。

この非線型（非リニア的）思考、陰性能力が今の時代ととても大事になってきているように思います。私自身この本に出会うまでは気づきませんでした。物事への疑問、問いを自分の中に温めるうちに、ある日ふっと腑に落ちることが生じる豊かさを共に感じてゆきましょう。

「会話欲求」から見えてくるもの

医療法人仁風会 八雲病院 地域活動支援センター・相談支援事業所 ビ・フレンジング
所長 森 脇 英 人

我々人間はさまざまな「欲求」を持つと言われています。

マズローによると、人間の欲求は5段階あるとされています。一番低い層から「生理的欲求」「安全欲求」です。3番目は「社会的欲求」で、この欲求を満たせない場合、人は孤独や不安を強く感じるようになると言われています。4番目の「尊厳欲求（承認欲求）」（他者から認められたい）は社会とのつながりを求めていると言われています。最後に「自己実現欲求」です。

皆さんが日常生活し、生きていく中で、どうしても譲れない欲求とはどんな欲求でしょうか？私が大切にしたいと考える欲求は「会話欲求」です。マズローの説からいうと、生理的欲求、社会的欲求、そして、承認欲求の中に入ってくると思います。なぜ私が会話欲求を強く求めるのか。

私は日本の大学を卒業後、ホテルマンとして就職しました。ホテル全体を総括する立場にもあり、様々な部署の人の相談を受けることが多くありました。しかし、大学出たての若輩でもあり、そうした様々な相談に対してどのように対処してよいのかわからず、自分の力不足を痛感しました。大学を卒業したといっても真面目に勉強した訳でもなく、「よし、今度こそ勉強しよう！」と思いい立ち、再度大学で勉強することにしました。

私は無謀にもアメリカの大学に入学しました。とはいえ、そんなに簡単に入れるはずもありません。私がもともと英語が得意であれば容易に入学できたでしょうが、恥ずかしながら私の高校3年生時の共通一次試験（現在のセンター試験）は200点満点でなんと40点。「アメリカに行けば、英語なんて簡単に身につく」と高をくくっていましたが、現実はそのような甘いものではありませんでした。英語学校の同級生（マレーシア人）が環境変化に耐えきれず焼身自殺をしたという悲しい事件もありました。外国で生活するということは人にもよりますが、想像以上にストレスがかかるものです。猛勉強の末、8か月後に社会学部ソーシャルワーク学科に無

事入学し、相談支援の道へと進みました。

「言いたいことが伝えられない...」「相手の言っていることがさっぱり分からない...」主観ではありますが、私は聴覚障がいの方や言語障がいの方が感じるような感情を持ったのです。会話が出来るという日ごろ当たり前だと思っていたことへの感謝の気持ちを深く感じた瞬間でした。嬉しいこと、悲しいこと、悩んでいることを相手に聞いてもらいたいという欲求が「伝えられないもどかしさ」にすり替わる時間。会話がキチンと出来ないと、双方認め合うことすら出来ない。私はこのもどかしさを「会話欲求」と名付けました。英語力がない状態で渡米したことから多くの失敗をし、表現できない程の屈辱感を味わい、辛い日々をおくりましたが、同時に多くを学んでいたことに気が付いたのでした。

私が所属する「ビ・フレンジング」という名称の起源は、『感情に寄り添い、来談者の心の支えになる』という意味を持っています。

ビ・フレンジングと同じく主に精神障がい者の方のための「地域活動支援センター・相談支援事業所」は島根県内に11カ所あります。それぞれのセンターが地域の特色を生かしながら、精神障がい者の方々、そのご家族らの相談に丁寧に対応をし、地域活動を支援し、またその活動を広げるために尽力しています。いのちの電話にも精神障がい者の方と思われる方からの相談も増えていると聞きます。個人的な見解ではありますが、今後は「島根いのちの電話」と我々「地域活動支援センター・相談支援事業所」など精神科領域の多くの機関とが深く連携することも望まれるのではと感じています。

私がアメリカで経験した「会話欲求」。この「会話欲求」を満たすこと、これこそが電話相談において傾聴を柱とする相談支援の中心になる欲求ではないでしょうか。相手の話をまず受け止め、そして相手にも自分を受け止めてもらう。小さいようで、実は大きいその欲求を満たすことこそが支援の始まりだと思うのです。

受信統計を読み解く

いのちの電話連盟の統計が全国統一されて5年が経過したのを機に
島根いのちの電話広報委員会として統計データの分析を試みました

自殺志向相談電話 件数・時間ともに増加



【5年間の推移】

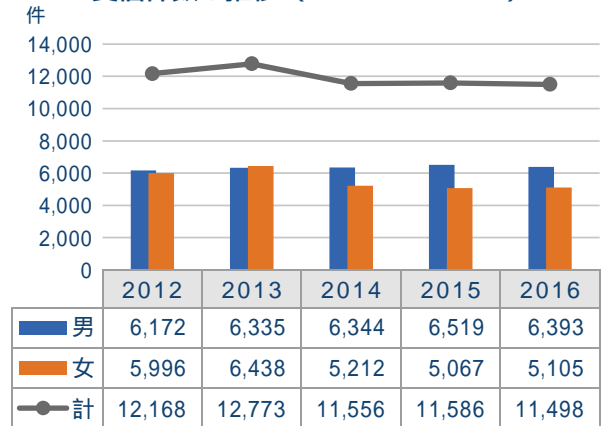
島根いのちの電話は、1979年に受信件数191件でスタートし、近年、10,000件を超える相談電話を受信しています。

最近の5年間の受信状況を振り返りますと、受信件数は2013年をピークに減少傾向が見られ、女性からの相談電話に自殺志向の傾向が強いことがわかります。

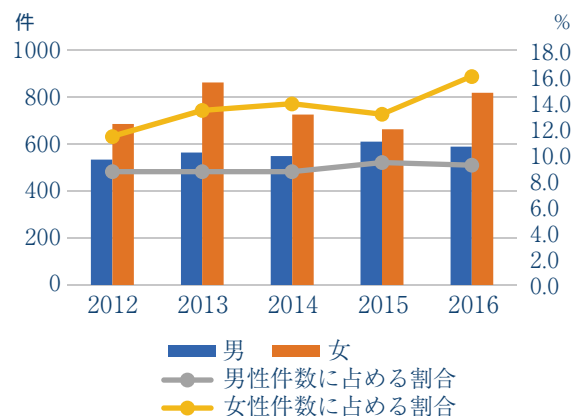
このうち自殺志向の相談電話は全体の約1割を占めていますが、少しずつ増加傾向が見られ、2016年には1408件と受信件数の12.2%を占めていました。男女別にみると、男性よりも女性に自殺志向の相談が多く、2016年度には女性の相談件数5105件中819件（16%）と顕著に増加しています。

相談電話の受信時間は、相談件数の減少傾向に反して増加しており、1件当たりの平均受信時間は2012年に17.7分でしたが、2016年には21.3分と増加しました。自殺志向電話についても同様に1件当たりの受信時間は2012年27.7分に対して、2016年31.7分でした。

受信件数の推移（2012～2016）



自殺志向電話の推移（2012～2016）



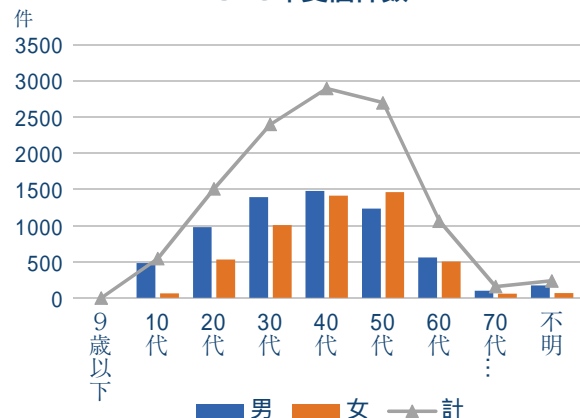
若い世代は男性が多い 女性は50代が最多

【2016年の内訳】

2016年の受信件数11,498件の内訳は、男性55.6%、女性44.4%と男性の方がやや多くなっています。

年代別にみると、男女ともに30代から50代の働き盛りの世代で件数が多いのですが、男女で比較すると男性は40代、女性は50代が最も多いこと、30代までの若い年代では男性からの電話

2016年受信件数



が女性よりも明らかに多いことなど、分布に差が見られます。また2016年は9歳以下の電話はかかっておらず、10代の女性と70代以上では件数がわずかでした。

相談内容別にみると、男女ともに「精神」「人生」「家族」についての相談が多く、件数は男女ほぼ同じでした。「いのちの電話連盟」の統計データをもとに、「精神」「人生」「家族」の3項目が多く、全国的に共通する傾向だと考えられます。

これ以外では、女性は「対人」が多く、男性では「その他」が多くなっています。「その他」には、「もしもし」のひとつで切れてしまった電話や性的ないたずら電話のように本来の相談とは考えにくいものが含まれています。

「精神」とは、うつ・総合失調症・その他の疾患など精神面の健康に関する相談です。

自殺志向電話は女性が多い 男性は電話を控えている？

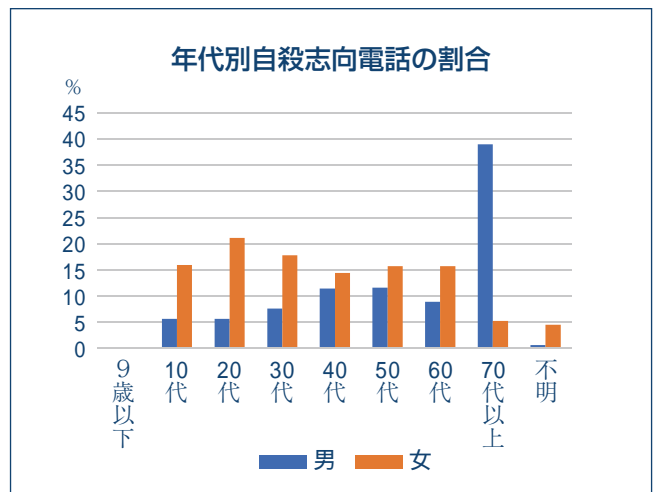
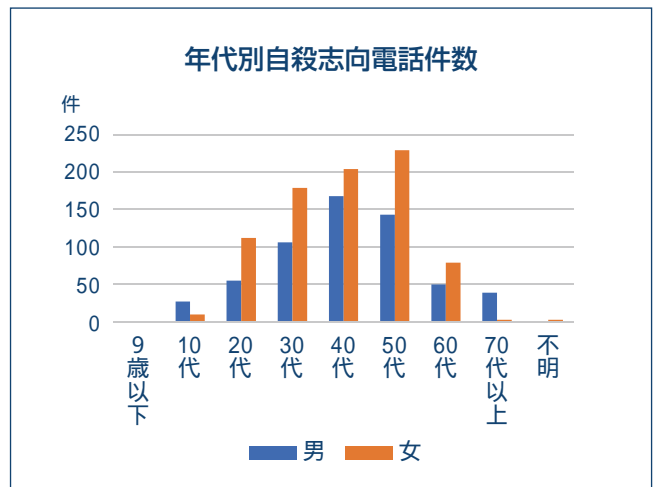
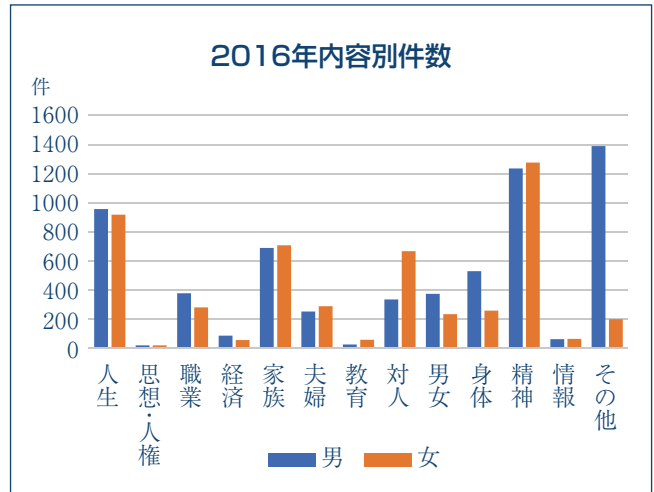


【自殺志向の電話】

総受信件数に占める割合をみると、1割以上が自殺を考えるほどの深刻な状況での電話だったこととなります。男女別にみると、2016年では男性589件（9.2%）、女性819件（16.2%）で、件数・割合ともに女性の方が明らかに多いと言えます。実際の自殺統計等では男性の方が多いことから考えると、男性が女性に比べて自分の悩みや苦しい気持ちを言葉で伝えることが苦手だったり抵抗を感じがち傾向が影響しているのかもしれませんが。

自殺志向電話の件数と割合を年代別にみると、件数は総受信件数と同様に30代から50代で多く、男性では40代、女性では50代で最も多くなっています。10代の女性では総件数が少ないため自殺志向電話の件数も少ないのですが、割合は低くありません。10代から30代の若い世代では割合の男女差が大きいことが目立ちます。70代の男性では、総件数に占める自殺志向電話の割合が39.0%と突出していますが、前年は11.8%でしたので、2016年特有の結果と考えられます。

なお、自殺志向電話は「念慮」「危険」「予告・通告」「実行中」の4段階に分けていますが、1,408件のうち1,278件（90.8%）が「念慮」でした。



「念慮」とは「自殺する」とはっきり言うわけではないけれど、話の端々から「生きているのがつらい」「いなくなりたい」などの苦しい心情が伝わってくるものをいいます。危険度の高い電話への対応が重要なのももちろんですが、「念慮」のような早めの段階で、一人で思いつめずに話すことで少しでも気持ちが楽になっていただくことを願わずにはられません。

NHKラジオ番組から～自殺未遂の経験談を聴いて

2017年8月24日「“悩める若者たち”への応援歌」と題して、尾木ママを中心に実際に自殺未遂を経験された10代と20代の若者に話を聞く番組が放送されました。放送後は「聞き逃し番組」として、10月下旬まで番組内容を聴くことができました。

この番組を聴いた電話相談員は、日ごろからののちの電話にかかってくる電話内容と照らし合わせて、あらためて学ぶものがあると感じています。

【放送内容の一部】

(20代女性) 私の場合、死にたいではなく、楽になりたい、ホッとしたい、といった気持ちでした。駅のホームを歩いていると「このまま線路の方へ行けば、楽になるかも」みたいな気持ちになることがありました。ある人は、橋の欄干から川に飛び降りたのですが、水の中でもがいているとき、はっとした、と言っていました。気持ちがふわふわした状態だった、と話しています。

(先輩) もし、あなたが「死にたい」というような内容の電話を受けたとしたら、どのように対応しますか？

(研修生) 「死にたい」とか、「消えたい」とか、コーラー(電話を掛けてきた方)さんに言われると、どのように返事をすればいいのか、実際

に電話を受けたときにはとても困りそうです。(先輩) そうですね。私も正直なところ、返事をしながらこれでよいのかと悩むことがあります。NHKのラジオ番組に出ていた人も、仕事で行き詰まったときの話をしていました。周りから「早く辞めれば」と言われるというのです。それに対して、自分は仕事を投げ出すことはできない、という気持ちで一杯だった、と話していました。

(研修生) 仕事は辞めることができない、会社の上の方にも言えない、ということであれば、どうすることもできないのではありませんか。そのような状況に置かれている人は、やはり最後の手段として、死ぬことを選ぶのでしょうか。(先輩) ラジオ番組でも語られていましたが、「死」という意識はなく、ふわっとした気分になり、死への行為に及んだというのです。はっとして、自分は死のうとしていたんだ、と気が付いたというのです。

(研修生) 電話を掛けてきたコーラーさんは、はっきり死にたい、と言うとは限らないということですか？

(先輩) コーラーさんが相談電話を掛けてきたときに、ほとんど何もしゃべらない人がいます。自分の気持ちがまとまらずに、心の中を整理しているのかもしれませんが。コーラーさんの多くは「最後の手段」というような「決意・決心」ではなく、ぼんやりと「死」と直面しているのかもしれませんが。

座間事件～電話相談員の思い

平成29年10月31日、信じ難いニュースが流れました。「27歳の男が住むアパート室内で、若い女性8人、男性1人の、計9人とみられる遺体が見つかった」というものです。

その後の報道で、容疑者とツイッターでやり取りをしたことがあるという15歳の女子生徒が、取材に応じています。

女子生徒はこのときの気持ちを、「軽い気持ちで自殺したいと書き込んだが、気持ちが揺れているような状態だった。」「先のことが不安で、ただ話を聞いてほしかっただけだと思う。ツイッターだと相手のことを知らないで、何でも言えて楽だった。SNSは怖いです。」と話しています。

「SNSは怖い」という彼女にとって電話をかけるのはどんなにハードルの高いことか…。彼女の気持ちにいったいどうしたら寄り添えるのだろうか…。相談員の思いは複雑です。

それでもいのちの電話の相談員は「勇気を出してかけてほしい」と願っています。

理事会 ・ 行事参加

平成29年度 第3回理事会

1. 日時：平成29年8月20日(日) 午後3時～午後5時
2. 場所：いきいきプラザ島根 201研修室
3. 議題
第1号議案 中国労働金庫の感謝状について
第2号議案 運営会議の組織について
第3号議案 浜田分室について
第4号議案 石見相談員の研修会参加の為の交通費について
第5号議案 平成29年度の松江市社会福祉協議会会長表彰及び感謝候補者の推薦について

平成29年度 研修・啓発活動等への行事参加

- 6/18 日本いのちの電話連盟 第5回中国・四国事務局会議参加
- 6/21 国際ソロプチミスト松江 女性と女兒の生活向上支援金贈呈式
- 7/ 3 日本司法支援センター 第22回法テラス島根地方協議会参加
- 7/24 松江市社会福祉法人連絡会 平成29年度総会参加
- 9/11 島根県松江保健所 自死予防キャンペーン(街頭でチラシ配布)
- 9/28 島根県松江保健所 自死対策総合連絡会参加
- 10/27 島根県健康福祉部障がい福祉課 自死総合対策トップセミナー
- 10/30 松江市社会福祉協議会 平成29年度松江市社会福祉大会参加
- 11/ 6 島根県自死総合対策連絡協議会 自死対策連絡会参加
- 11/ 7 島根県被害者支援連絡協議会 被害者支援連絡協議会総会参加
- 11/24 島根県警察本部 犯罪被害者週間・街頭でチラシ配布
- 12/ 2 島根県立心と体の相談センター 平成29年度指導者養成講習会
- 12/ 7 島根県共同募金会 平成29年度テーマ募金参加団体研修会
- 12/12 島根県立心と体の相談センター 平成29年度研修会参加



第37期電話相談ボランティア養成講座開講

平成29年9月2日(土)いきいきプラザ島根を会場に第37期電話相談ボランティア養成講座が開講しました。この度は、受講生15名を迎えることができました。

養成講座は昨年に続き「人との関係をよくするために」をテーマとした第1課程(公開講座)と「よき聴き手になるために」をテーマにした第2課程とで構成されています。第1課程は、精神疾患の基礎知識、障害をもつ人や高齢者への援助、心の病を知るなどの講義が毎週土曜日午後、12月まで続きます。第2課程は電話相談員として必要な理論や実技と、それに実習を取り入れ学んでいきます。

受講生の皆様にはぜひ第2課程へと進まれ、

電話相談ボランティアとして認定を受けられ「島根いのちの電話」で活動されますよう願っています。スタッフ一同応援しています。



ご支援ありがとうございました

次のかたがたにご支援をいただきました。心から感謝し、ご報告いたします。今後共、変わらせずご指導とご協力をお願い申し上げます。なお、はなはだ勝手ながら敬称は略させていただきます。

社会福祉法人 島根いのちの電話 理事長 釜瀬 春 隆

〔寄付者〕 アイカム株式会社 一般社団法人生命保険協会島根県協会 株式会社太陽電機製作所
 グラクソ・スミスクライン株式会社 湖北ベニヤ株式会社 さとうクリニック 島根県民共済生活協同組合
 しまね信用金庫 社会医療法人清和会 社会福祉法人益田市社会福祉協議会 中国労働金庫
 どんぐり会 松江中央住宅有限会社 足立 愛子 石橋 裕子 伊藤 暢啓 糸原 美穂
 今岡 雅史 イマオカハルコ 岡本 匡人 門脇 弘政 釜瀬 春隆 コツカユタカ 佐々岡星児
 武田 勇 田村 節美 永岡 秀之 中川裕紀子 永窪 秀臣 永島 由紀 日高 雅史
 福島 律子 松下 棟治 宮本 和樹 山崎 和子 カミヤアヤ タケベトモコ 松田 明子
 匿名4名

〔維持会員〕 安達 英之 安部山星児 安部 利一 石田 末富 石飛 秀人 今川 富夫
 岩下 初子 岩田 明美 岩成真佐子 内田 孝子 内田由美子 遠藤 知己 大島 久
 大畑 信子 岡田千鶴子 岡本 庸子 岡本 倫 小川 勉 楯野 光範 加島 弘康
 勝田 松美 狩野 和人 河上 峯子 菅野 恵子 蔵 あすか 倉井 幸子 河野 美江
 後藤 重子 小割百合子 斎藤 渉 斎藤誠一郎 佐藤 正保 十 楽 寺 新宮 雅子
 杉原 瑩子 杉原 純 周藤喜美子 角 智子 関 龍太郎 総本山一畑寺 高畠 文代
 高畠 利一 竹並 桃子 田村 節美 塚本 織恵 塚本 隆富 土江三恵子 角田 広子
 角森浩一郎 寺本 朝子 徳岡 光子 豊松 展史 永岡 秀之 中川 良子 中田 俊光
 永濱 哲夫 名原 供枝 錦織 和代 野津百合子 野浪 達司 林 秀樹 引野喜久代
 引野 真也 曳野 義子 福間 幸子 藤原 嘉樹 藤原 俊一 星野 佳代 松崎 太志
 松本 民子 美川 寛 柳井 学順 山内 愛子 山根 礼子 山本 栄子 山本 尚樹
 横田 悦子 吉木 絹代 匿名9名

〔団体会員〕 飯島クリニック 出雲市社会福祉協議会 奥出雲町社会福祉協議会
 合資会社山陰モーター商会 小松クリニック 山陰信販株式会社 山陰総合リース株式会社
 島根県医師会 島根県看護協会 島根県司法書士会 島根県精神保健福祉士会
 島根県農業協同組合くにびき地区本部 島根県農業協同組合やすぎ地区本部
 島根大学医学部精神医学講座 社会福祉法人飯南町社会福祉協議会 社会福祉法人浜田市社会福祉協議会
 社会福祉法人島根県断酒新生会 杉原クリニック ほしの内科胃腸科クリニック 松江市医師会
 松ヶ丘病院 みやもとクリニック 有限会社ココヨー レディースメンタルクリニック一粒の麦
 和幸株式会社 株式会社博愛社 株式会社みしまや

〔賛助会員〕 青木 志保 青木 尚美 青木 陽子 青笹 美香 青山 浩史 秋田 裕美
 穂葉 寛佳 吾郷 哲男 吾郷 正則 吾郷 利宏 足立 隆 足立 弘 安達 道子
 足立 和弥 安部山 亨 荒本 弘美 飯塚 麻美 家迫 隆士 生田さくら 池田 誠
 池淵 明美 石井 幸美 石川 厚志 石川 一郎 石川 雅美 石川 睦子 石川 祐子
 石倉 雄治 石田 強 石飛 恭助 石富 仁志 石橋 達也 石原 啓治 板倉 広樹
 井塚 康寛 伊藤 恭子 伊藤 進 伊東 望 糸原 一志 糸原 勝則 犬丸 淳
 井上 修 井上 慎二 猪俣 潤也 意東 直樹 今田久仁子 井山 俊一 岩上 弘史
 岩野 真保 岩本 昭徳 岩本美智子 内田 和恵 内田多恵子 内田 美穂 内富美由紀
 内部 宏 宇都宮拓也 江尻 守人 江角 聖子 江角 正俊 遠藤 博志 遠藤まどか
 遠藤 陽子 塩冶 朋江 太田 均 大竹 民子 大谷みゆき 大地本敦子 大塚 寛子
 大塚 律子 大矢根久和 岡 達郎 岡 真由美 岡 礼子 小笠原唯真 小川 雅隆
 奥村 恭 小澤 房範 小野 樹里 小原 圭司 小村 浩二 小村 修一 恩田 一樹
 梶谷 長之 片岡 大輔 片平登代彦 勝部 貴大 勝部 淳 勝部 昇 勝部 祐二
 加藤 健 加藤 幸子 角折 義男 門脇 香菜 門脇 智子 金築 豊和 川井 純

川本 直樹	神田 文明	神庭 章	岸川 慎一	北尾ひとみ	木山 収司	京谷 大輔
清山真理子	日下 純子	久保田一郎	倉崎	栗山 政和	黒川 俊輔	黒崎 守人
小玉 英生	古藤 順子	小林 栄子	小室 俊子	近藤 一幸	斎藤 浩美	境 英治
坂栄 一秀	坂田 志帆	坂手 麻里	坂根 正一	坂本 偉健	坂本 久	坂本 弘子
坂本美和子	佐々木昭子	佐々木博治	佐々木文雄	佐々木 洋	笹後 豪	幸村 仁
下諸可奈絵	嶋田 隆	嶋田 満	城市 賢二	菅 美穂	杉原 徳郎	杉原 宣子
杉原 誠哉	周藤 久	角 睦子	澄田 恵理	須山 敏之	曾田 貴子	曾根 裕子
園山 浩幸	大賀 伸吾	高岩 俊文	高木 清	高木 肇	高野 勝人	高橋 尚寿
高橋 雅子	高橋悠里子	高橋 幸枝	高宮あゆみ	高宮 正明	瀧本 正樹	宅間 潤
竹内 妙子	竹内 俊勝	武智 昭仁	竹森 順子	多々納雄二	田中 周	田中 忠夫
田中 徹	田部富実江	田邊和佳子	玉木 秀憲	長崎 康弘	土江 徹	津森なつき
寺本 哲治	飛 浩隆	土井久美子	土肥 正幸	徳永 恵美	戸山 裕一	直江 大悟
中井 恵子	永海妃砂美	長尾 稔	長岡 秀樹	中川 昭生	中島 嘉教	中島 和子
永島 正治	永瀬 和枝	永瀬 裕	永田 聡	永田 淳	永田 和俊	永野 公
長野 正己	永原 英暁	中村 純一	中村晋二郎	鍋田 修身	奈良 省吾	奈良井浩人
成相 和恵	成相 房枝	成相 優	西川 省三	錦織 厚雄	錦織 友紀	錦織 洋子
西村 秀樹	新田 英夫	野津 彩	野津 大介	野津 康之	橋本 久美	長谷川利寿
秦 尚裕	花谷 慶子	母里 誠章	濱田ちいか	林 一彦	林 礼子	原 圭子
原 宏	半場 祐子	曳野 晃夫	樋口 政弘	平岡 昇	平木 健滋	平田 博文
平谷 伸吾	平野 晴美	広江 正人	福井 淳子	福代 健太	福頼 尚志	藤井早希子
藤井 千鳥	藤井 徹	藤井 俊彦	藤井 晴男	藤谷 明子	藤原いずみ	藤原 健司
藤原 繁智	藤原 卓	藤原 直也	藤原 裕二	舟木 秀夫	古瀬 和久	細田 幸二
細田 真一	堀江 剛	本田 勝己	牧野由美子	昌子 裕	町田 清貴	松浦香代子
松浦 芳彦	松岡 文子	松川 恒子	松崎 理泰	松島 大吾	松田 英治	松田 智美
松田 史恵	松本 修吉	松本 裕二	松本 洋子	丸瀬 司	三浦 一弘	三浦 和利
三島 彩	三島 俊輔	三島 伸	水 かおる	水元 達史	三谷 耕司	三谷 直子
峯 彰子	宮阪 敏章	宮崎 潤子	森本 勝志	森本 敬史	森山 康史	安井 健二
安井 由香	安原 京子	安本 清美	山崎 健治	山崎 浩司	山崎 俊行	山崎 紀子
山田 恭子	山根 温美	山根三千弘	山根 夏生	山本 健司	山本 高志	山本 智之
湯原 優	横川 裕	吉井千栄子	吉岡 悦男	吉川 敏彦	吉田 孝子	吉野 明実
吉廻 敬喬	吉本 佑太	米田 麻純	若月 恭子	若槻 和浩	渡部 晴喜	渡邊 利恵

雲南市健康福祉部 雲南保健所 隠岐支庁県土整備局島前事業部 安来市役所 小竹原医院
匿名572名

島根いのちの電話の事業は、松江市社会福祉協議会から配分を受けた篤志寄付金を財源の一部として行っています。この広報誌は赤い羽根共同募金からの助成金を費用の一部に充当させていただいています。

あなたのご支援をお願いします。

島根いのちの電話は、約100名の相談員と維持会員・賛助会員の皆さま、ご寄付頂いた方々のボランティアの力で支えられています。いのちの電話相談は無償の活動ですが、センターは相談員の養成や研修、維持費等で多額の運営費を必要としています。ぜひ皆さまのご支援ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

○維持会員（会員として毎年度会費を納めて頂く方） 年2回発行の広報誌、公開講座のご案内などをお送りします。

個人会員・・・3,000円以上 団体会員・・・10,000円以上

○賛助会員（金額は自由です。いつでもご支援ください。）

○寄付 社会福祉事業へのご寄附は税法上の優遇措置があります。

当法人は平成29年10月10日より寄付金の税額控除対象法人として認められています。

・個人は、確定申告によって税額控除か所得控除のいずれか有利な控除を選択できます。所得控除は「特定寄付金」として、支出寄付金額から2000円を控除した金額と総所得金額の40%の少ない金額の範囲内で寄付金控除の対象になります。

・法人は、「特定公益増進法人」への寄付金として、一定金額内で損金算入ができます。

詳細はいのちの電話事務局（0852-32-5985）にお尋ねください。



お振り込みは 郵便振替 01460-6-9398 社会福祉法人島根いのちの電話
山陰合同銀行津田支店（普）2385156 フク）シマネイノチノデンワ
事務局にご連絡いただければ振り込み用紙をお送りいたします。

社会福祉法人 島根いのちの電話 公開講座

奇蹟の「いのち」を守るために

「いのち」が生まれることは、当たり前のことではなく、ほとんど奇蹟と呼んでもよいぐらいの確率です。その「いのち」を守るために、身体の中では、様々な臓器や細胞が信じられないほど見事に協調しあっているのです。いのちがいかに大切なものか、軽んじてはいけないものか知っていただきたいと思います。歌や音楽をまじえながら、肩のこらない雰囲気での講演会です。

2018年

2月24日|土|

午後2時～4時（1時30分開場）

松江市総合福祉センター 4階大ホール

松江市千鳥町70番地 TEL 0852-24-1643

※駐車場は千鳥団地「なにわー水」東側にあります

講師

大田市・池田診療所 所長
長坂ゆきひろ氏

講師プロフィール

長坂ゆきひろ氏：和歌山県生まれ。島根医科大学を卒業後、循環器内科を専攻。在学中より同大学管弦楽団にてチェロ奏者、指揮者として活動。予防医学と対話の医療を目指して、平成5年に島根県大田市三瓶町に池田診療所を開設。その後、音楽創作を始め、講演とコンサートを交えた独自の活動をスタートし、その回数は400回を越す。現在、国立大学法人島根大学医学部 臨床教授、学校法人リハビリテーションカレッジ島根 内科非常勤講師、島根大学医学部シュールカメラート管弦楽団とDNAフィルハーモニックの常任指揮者をつとめる。



入場無料

手話通訳があります

申し込み

裏面の参加申込書はFAXまたはメールにてお申し込みください ※当日参加もできます

後援 島根県、松江市、島根県社会福祉協議会、島根県自死総合対策連絡協議会、山陰中央新報社

主催 社会福祉法人 島根いのちの電話

問い合わせ 島根いのちの電話事務局

ホームページ

島根いのちの電話

電話 0852-32-5985 (9:00~17:00) (月~金)

FAX 0852-32-5986 (24時間)

メール s-inochi@smile.ocn.ne.jp

相談電話 0852-26-7575



編集後記

島根いのちの電話が昭和54年7月に開局して以来38年が経ちました。この永い間の相談電話受信統計が取られています。広報委員会でこの統計に表れた実態を時系列的に把握してみようと今回取り上げました。「受信統計を読み解く」というテーマで委員会を重ねました。委員会では、それぞれの考え、感想、疑問等を遠慮なく、にぎやかに話し合いました。開局当初からの統計分析は無理であり、最近5か年の受信実態の全体像をみることにしました。初めての試みでしたが、相談の実態の推移、項目別特色等を知ることが出来ました。この編集の過程で、出来たデータをもとに広報委員同士で意見交換できたのはお互いの収穫になりました。今後とも、この取り組みを継続したいものと考えています。

(編集子)

表紙

JR益田駅から約3km、車で8分のところにある萬福寺・雪舟庭園は、室町時代（文明11年）1429年、雪舟によって造られた寺院様式の石庭です。応安7年（1374年）益田家の菩提寺と定められたのち、15代城主益田越中守兼亮（かねたか）が造らせました。撮影に訪れたとき女性2人が草取りの作業をされていました。どんなに素晴らしい庭であっても、手入れがなくては愛でることもできません。この作業は数百年続けられてきたのでしょうか。労作業に感謝です。

社会福祉法人 島根いのちの電話
事務局 〒690-0011 松江市東津田町1741-3
いきいきプラザ島根
TEL (0852) 32-5985
FAX (0852) 32-5986
Eメール s-inochi@smile.ocn.ne.jp
ホームページURL <http://www.shimane-inochi.jp/>
発行人 理事長 釜瀬 春隆
編集 島根いのちの電話広報委員会